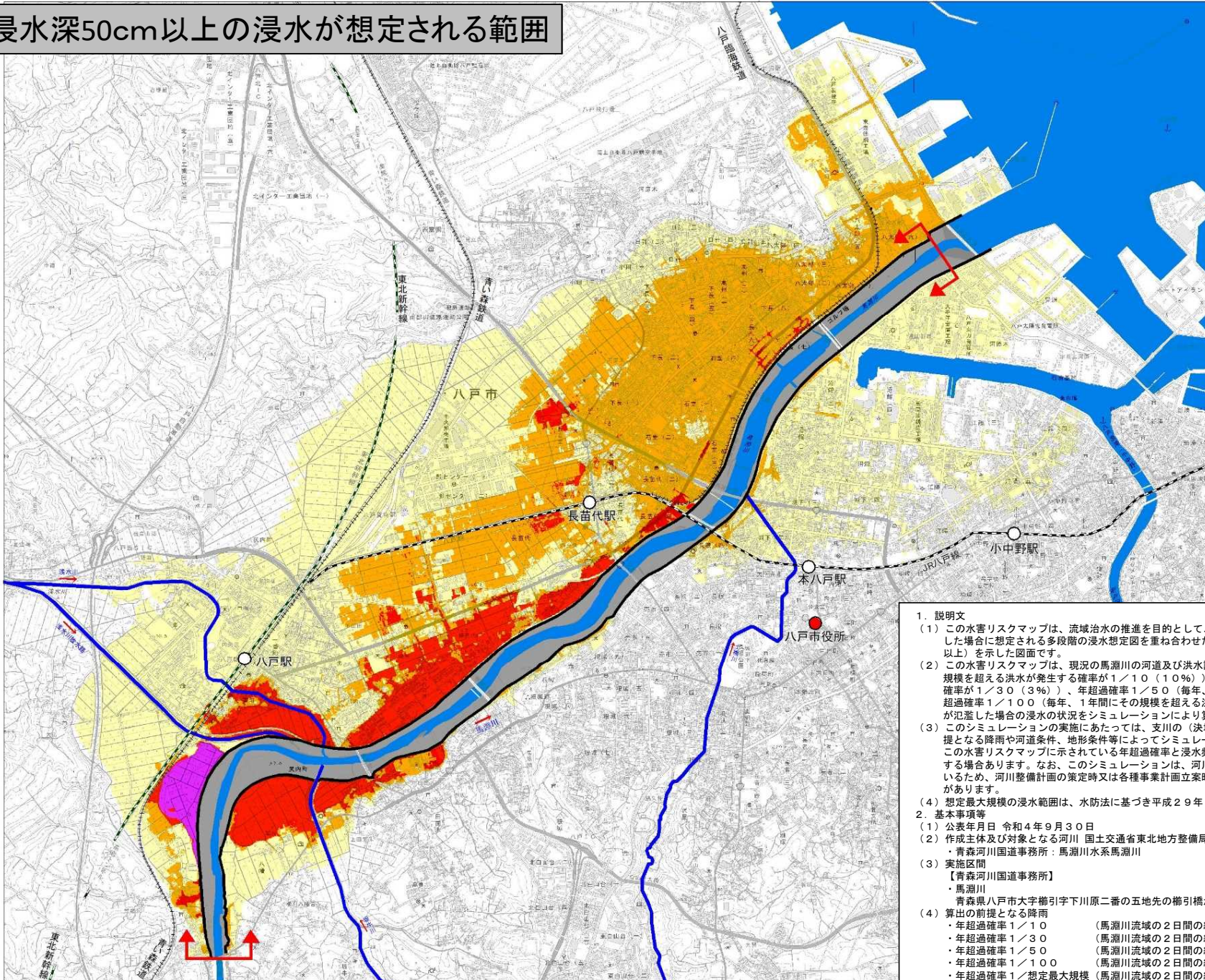


# 馬淵川水系 水害リスクマップ 【現況(浸水深50cm以上の範囲)】

浸水深50cm以上の浸水が想定される範囲



## 凡例

- 高頻度(1/10)
- 中高頻度(1/30)
- 中頻度(1/50)
- 中低頻度(1/100)
- 低頻度(1/150)
- 想定最大規模

1. 説明文
  - (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水深50cm(床上浸水相当)以上)を示した図面です。
  - (2) この水害リスクマップは、現況の馬淵川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)の降雨に伴う洪水により馬淵川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
  - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和41年6月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
  - (4) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成29年1月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
2. 基本事項等
  - (1) 公表年月日 令和4年9月30日
  - (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省東北地方整備局  
・青森河川国道事務所 馬淵川水系馬淵川
3. 実施区間
 

【青森河川国道事務所】

  - ・馬淵川
  - ・青森県八戸市大字榎引字下川原二番の五地先の榎引橋から海まで
4. 算出の前提となる降雨
 

・年超過確率1/10	(馬淵川流域の2日間の総雨量114mm)
・年超過確率1/30	(馬淵川流域の2日間の総雨量138mm)
・年超過確率1/50	(馬淵川流域の2日間の総雨量149mm)
・年超過確率1/100	(馬淵川流域の2日間の総雨量165mm)
・年超過確率1/想定最大規模	(馬淵川流域の2日間の総雨量317mm)
5. 河道条件: 現況
6. 関係市町村 八戸市

国土地理院の電子地形図25,000「八戸西部」「八戸東部」「苦米地」「新井田」「百石」を掲載(測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R4Jhs 378)

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。